

講座だより

第6号

10月1日（日）に静岡市葵区にある「静岡県総合研修所もくせい会館」にて第6回目の養成講座を実施しました。午前中は静岡大学の村越真氏から安全管理について講義がありました。また午後は公益財団法人キープ協会の関根健吾氏から前回実施した実習を踏まえ、プログラムデザインについて講義がありました。以下、講座の様子です。



【リスクマネジメントの講師村越真氏】

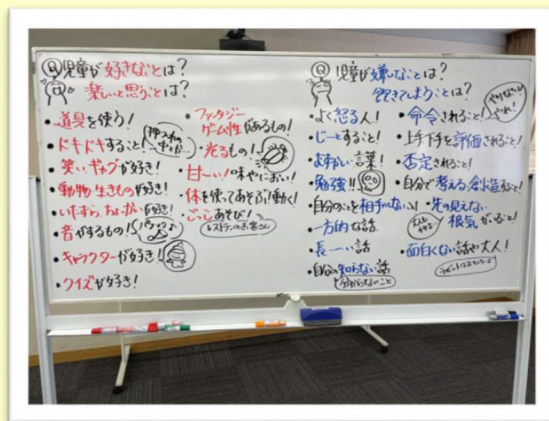


【危険について話し合う様子】

午前中は静岡大学の村越氏による安全管理についての講義を行いました。初めに指導者として必要な安全への視点について、危険予知トレーニングや事故の事例から学びました。講師からはリスクは事前にコントロールできる部分があり、指導者は様々な視点でリスクに気づくことが大切であると解説がありました。また参加無料のプログラムであっても指導者にはリスクに対して責任があり、マネジメントをする義務があると説明がありました。



【関根健吾氏によるプログラムの様子】



【対象者理解についてのワークの様子】

午後は前回に引き続き、公益財団法人キープ協会の関根健吾氏によるプログラムデザインについての講義が行われました。プログラムには効果的な「流れ」があることや、対象者に合わせた「ねらい」の設定について学びました。またプログラムをデザインする上で、時間・空間・関係についてもデザインを意識することが大切だと学びました。最後に良い指導者になるためには、良い参加者体験をすることも必要であることが語られました。

《発行元》

静岡県暮らし・環境部環境局環境ふれあい課 緑化班

電話:054-221-2849 Eメール:fureai@pref.shizuoka.lg.jp